

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	介護保険（地域支援）事業	所管部局	福祉部

1	所管室課	高齢福祉室	事業名	シルバーハウジング生活援助員派遣事業			
事業概要							
シルバーハウジング生活援助員派遣							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
市内3カ所のシルバーハウジング入居者に対して、相談、助言、安否確認等を行う生活援助員を派遣。		決算額 (千円)	14,971	15,301	15,982	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性	
<ul style="list-style-type: none"> 生活相談及び安否確認 11,154回 関係機関との連絡調整 732回 緊急時の対応 25回 一時的な家事援助 462回 		一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0	事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題	
		入居者で身体レベルや特性が異なるなかで、個々に寄り添った丁寧なサービスの提供を継続していく。 生活援助員の勤務時間外等に緊急に対応できる法人が他になく、事業を継続的に実施することが課題となっている。				今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	

2	所管室課	高齢福祉室	事業名	介護予防・生活支援サービス事業			
事業概要							
介護予防・生活支援サービス							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
要支援者・基本チェックリスト該当者が利用する高齢者安心・自信サポートサービスの訪問型サービスと通所型サービスを提供する事業者に対し、サービス費用を給付。		決算額 (千円)	819,476	850,387	886,241	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性	
<ul style="list-style-type: none"> 訪問型サポート件数 (R4)19,065件 (R5)18,352件 (R6)18,509件 通所型サポート件数 (R4)19,848件 (R5)21,505件 (R6)23,093件 訪問型短期集中サポートサービス相談件数 (R4)114件 (R5)78件 (R6)86件 訪問型短期集中サポートサービス利用件数 (R4)23件 (R5)19件 (R6)22件 		一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0	事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題	
		事業費の増大を想定し、総合事業交付金に係る上限超過の可能性を視野に入れた事業運営が必要。				今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
-------	-----	----	----------------

管理事業	介護保険（地域支援）事業	所管部局	福祉部
------	--------------	------	-----

3	所管室課	高齢福祉室	事業名	介護予防ケアマネジメント事業			
事業概要							
介護予防ケアマネジメント							
活動実績		年度	R4	R5	R6	評価の視点	
要支援者・基本チェックリスト該当者が高齢者安心・自信サポートサービスを利用した際の介護予防ケアマネジメント（ケアプラン）作成の費用を事業者に給付。 ・給付件数 (R4)19,879件 (R5)19,650件 (R6)20,110件 ・広報インセンティブ付与件数 (R4)1件 (R5)5件 (R6)10件		決算額(千円)	98,728	97,610	100,768	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	
		高齢者の増加に伴う事業費の増大を想定し、総合事業交付金に係る上限超過の可能性を視野に入れた事業運営が必要。広報インセンティブ取得する事業者の増加及び市民周知を図る。		今後の実施計画の方向性・内容 継続			

4	所管室課	高齢福祉室	事業名	介護予防事業			
事業概要							
介護予防普及啓発、介護支援サポーター、住民主体の介護予防活動支援、地域リハビリテーション活動支援							
活動実績		年度	R4	R5	R6	評価の視点	
(1) 介護予防普及啓発 ・介護予防教室（口腔） コース数：(R4)6コース (R5)8コース (R6)7コース 参加延人数：(R4)73人 (R5)173人 (R6)108人 ・介護予防教室（栄養） コース数：(R4)4コース (R5)7コース (R6)8コース 参加延人数：(R4)64人 (R5)135人 (R6)167人 (2) 住民主体の介護予防活動支援 ・いきいき百歳体操フォロー講座 実施回数：(R4)273回 (R5)301回 (R6)331回 延参加者数：(R4)3,068人 (R5)3,478人 (R6)3,835人 (3) 介護支援サポーター 研修開催回数：(R4)18回 (R5)12回 (R6)10回 受講者数：(R4)26人 (R5)39人 (R6)25人		決算額(千円)	23,420	22,062	27,482	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	
		いきいき百歳体操グループ参加者の体力測定等から、活動の継続に関する評価を実施し、継続による効果の高さが見られた。今後の評価に向けて、システムの見直しが必要。 今後、高齢者人口の増加により要介護認定者数も増加する見込みであるため、介護予防活動や社会的な活動に取り組む高齢者を増やす仕組みの検討が必要である。		今後の実施計画の方向性・内容 拡充 ・システムの見直し ・効果的な介護予防教室や主体的に行う介護予防活動の仕組みづくりの検討			

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	介護保険（地域支援）事業	所管部局	福祉部

5	所管室課	高齢福祉室	事業名	高額医療合算介護予防サービス費相当事業			
事業概要							
高額医療合算介護予防サービス費相当							
活動実績		年度	R4	R5	R6	評価の視点	
医療保険各制度において世帯内の同一の医療保険の加入者について、1年間（毎年8月1日から7月31日）の医療保険と高齢者安心・自信サポート事業との自己負担合計額が上限を超えた場合に、その超えた額を給付。 ・給付件数 (R4)116件 (R5)107件 (R6)140件		決算額(千円)	1,874	2,000	2,818	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		高齢者の増加に伴う事業費の増大を想定し、総合事業交付金に係る上限超過の可能性を視野に入れた事業運営が必要。			

6	所管室課	高齢福祉室	事業名	高額介護予防サービス費相当事業			
事業概要							
高額介護予防サービス費相当費							
活動実績		年度	R4	R5	R6	評価の視点	
高齢者安心・自信サポート事業の訪問型サービス及び通所型サービスの利用者が支払った1か月あたりの自己負担額が、世帯合算で上限を超えた場合に、世帯に給付。 ・給付件数 (R4)607件 (R5)630件 (R6)705件		決算額(千円)	1,714	1,731	1,771	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		高齢者の増加に伴う事業費の増大を想定し、総合事業交付金に係る上限超過の可能性を視野に入れた事業運営が必要。			

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	介護保険（地域支援）事業	所管部局	福祉部

7	所管室課	高齢福祉室	事業名	在宅生活支援事業			
事業概要							
高齢者・介護家族電話相談、救急医療情報キット配布、緊急通報システム（人感センサー含む）							
活動実績		年度	R4	R5	R6	評価の視点	
<p>【人感センサー設置の対象拡大による拡充】 高齢者・介護家族電話相談は閉庁時間帯における高齢者や介護家族の相談を行うことで安心して暮らせるとともに介護家族の負担を軽減した。 また、ひとり暮らし高齢者等に救急医療情報キットを配布することによって、高齢者の安心安全を図った。</p> <p>(1) 高齢者・介護家族電話相談 ・相談件数 (R4) 513件 (R5) 308件 (R6) 494件</p> <p>(2) 救急医療情報キット配布 ・申請者数（累積） (R4) 16,647人 (R5) 17,262人 (R6) 17,867人 ・救急キット活用件数 (R4) 39件 (R5) 46件 (R6) 88件</p> <p>(3) 緊急通報システム（人感センサー含む） 通報の受信と駆けつけ費用を支出</p>		決算額 (千円)	21,098	22,849	14,957	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0		
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題		特になし			

8	所管室課	高齢福祉室	事業名	審査支払手数料事業			
事業概要							
審査支払手数料							
活動実績		年度	R4	R5	R6	評価の視点	
<p>高齢者安心・自信サポート事業のサービス提供事業者への給付費支払を委託している大阪府国民健康保険団体連合会へ支払う給付費審査の支払手数料。</p> <p>・審査件数 (R4)58,792件 (R5)59,493件 (R6)61,710件</p>		決算額 (千円)	2,755	2,788	2,892	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0		
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題		高齢者の増加に伴う事業費の増大を想定し、総合事業交付金に係る上限超過の可能性を視野に入れた事業運営が必要。			

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	介護保険（地域支援）事業	所管部局	福祉部

9	所管室課	高齢福祉室	事業名	成年後見制度利用支援事業			
事業概要							
成年後見制度利用支援							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
<p>【成年後見制度利用助成金に係る成年後見人等対象職種の追加による拡充】 判断能力が不十分な認知症高齢者等が、成年後見制度による保護を受けることにより、その者の意思を尊重し、その者の権利が守られるよう支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長申立件数 (R4) 7件 (R5) 17件 (R6) 15件 ・親族本人申立件数 (R4) 2件 (R5) 1件 (R6) 1件 ・市長申立分報酬助成件数 (R4) 8件 (R5) 6件 (R6) 8件 ・親族本人申立分報酬助成件数 (R4) 62件 (R5) 65件 (R6) 62件 		決算額(千円)	15,622	15,356	17,525	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		吹田市権利擁護・成年後見支援センター（けんりサポートすいた）と連携し、市民が制度利用にアクセスしやすい環境を整備していく。			
継続							

10	所管室課	高齢福祉室	事業名	千里ニュータウンプラザ管理事業（地域包括支援センター・維持）			
事業概要							
千里ニュータウンプラザ施設管理							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
桃山台・竹見台地域包括支援センターが設置されている、千里ニュータウンプラザの維持管理経費を支出した。 【決算内訳】 ・(R4) 合計 4,866千円 管理運営に係るサービス購入料（維持管理等） 3,906千円 光熱水費 960千円 ・(R5) 合計 4,976千円 管理運営に係るサービス購入料（維持管理等） 4,124千円 光熱水費 852千円 ・(R6) 合計 4,841千円 管理運営に係るサービス購入料（維持管理等） 3,964千円 光熱水費 877千円		決算額(千円)	4,866	4,976	4,841	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		特になし			
継続							

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	介護保険（地域支援）事業	所管部局	福祉部

11	所管室課	高齢福祉室	事業名	通いの場・集いの場介護予防事業			
事業概要							
街かどデイハウス介護予防、ふれあい交流サロン介護予防							
活動実績		年度	R4	R5	R6	評価の視点	
(1) 街かどデイハウス介護予防 街かどデイハウス運営団体：6団体 ・介護予防事業延参加者 (R4)11,573人 (R5)11,076人 (R6)9,736人 (2) ふれあい交流サロン介護予防 ・高齢者と世代が異なる市民が気軽にふれあい、交流できる場を設ける団体に補助金を交付した。 ・決算額：15,728千円 ・ふれあい交流サロン事業運営団体数 12団体 ・延べ利用者数：46,039人（うち介護予防取組利用者：12,592人）		決算額(千円)	22,183	25,830	26,243	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容	
		(1) 市域内での街かどデイハウス開設場所に偏りがある。また、街かどデイハウスの運営スタッフが高齢になっており、次の担い手が不足している。 (2) 令和6年度末で1箇所閉鎖になったため、設置目標数の12箇所に向けて募集を行う。 (1) (2) 高齢者の集いの場として市民周知をさらに進めていく必要がある。				継続	

12	所管室課	高齢福祉室	事業名	認知症サポーター養成事業			
事業概要							
認知症サポーター養成							
活動実績		年度	R4	R5	R6	評価の視点	
市民一人ひとりが認知症を正しく理解し、認知症の人と家族を温かく見守り支援する認知症サポーターを養成した。 ・講座開催数 (R4)42回 (R5)55回 (R6)59回 ・認知症サポーター養成数 (R4)952人 (R5)1,078人 (R6)1,691人 ・年度末累計サポーター数 (R4)28,386人、(R5)29,464人 (R6)31,155人 ・キャラバンメイト養成研修受講者数 (R4)5人 (R5)37人 (R6)19人 ・年度末キャラバンメイト登録者数 (R4)307人 (R5)324人 (R6)361人 ・認知症サポーターステップアップ講座参加者数 (R4)90人 (R5)82人 (R6)96人		決算額(千円)	146	239	496	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容	
		認知症サポーター養成講座の開催を学校に働きかけることで、受講者数は増加した。 チームオレンジ※の立ち上げの準備のため、認知症サポーターステップアップ講座を実施し、2チームめが立ち上がった。引き続き、チームオレンジを立ち上げ、認知症の方等と認知症サポーターを結びつけるような活動を目指す。 ※認知症の人を中心にし、近隣の認知症サポーター等がチームを組み、認知症の人や家族等に対する支援等を行う取組。				継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	介護保険（地域支援）事業	所管部局	福祉部

13	所管室課	高齢福祉室	事業名	認知症高齢者見守り事業			
事業概要							
徘徊高齢者SOSネットワーク、認知症地域サポート							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
認知症高齢者等が徘徊行動により行方不明になった場合に備えて、早期発見ができるネットワークの構築及び運用を図り、市全体で高齢者を見守り支えることで高齢者の安全を守り、その家族の精神的負担を軽減した。 (1) 徘徊高齢者SOSネットワーク (みまもりあいステッカー・アプリ) ・利用者数 (R4)183人 (R5)205人 (R6)244人 ・アプリダウンロード数 (R4)7,799件 (R5)9,361件 (R6)9,615件 ・アプリによる延搜索依頼件数 (R4)291件 (R5)349件 (R6)154件 ・ID転送通報延件数 (R4)211件 (R5)198件 (R6)103件 (2) 認知症地域サポート (声かけ見守り訓練) (R4)、(R5)実績なし (R6)実施地区1 (参加人数 36人)		決算額(千円)	1,221	308	499	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 (2) 6年ぶりに1地区で実施できた。引き続き、市報やホームページ等での啓発を行い、訓練を通じた地域ネットワーク構築の推進を図る。	
		今後の実施計画の方向性・内容		継続			

14	所管室課	高齢福祉室	事業名	認知症施策推進事業			
事業概要							
認知症初期集中支援推進、認知症地域支援・ケア向上							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を設置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制の整備や医療と介護の連携強化による、地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図った。 (1) 認知症初期集中支援推進 ・相談件数 (R4)83件 (R5)101件 (R6)108件 ・支援対象者数 (R4)56人(うち新規38人) (R5)60人(うち新規43人) (R6)68人(うち新規51人) ・延べ訪問回数 (R4)424回 (R5)662回 (R6)995回 ・支援終了件数 (R4)38件 (R5)43件 (R6)45件 ・チーム会議開催回数 (R4)45回 (R5)42回 (R6)40回 (2) 認知症地域支援・ケア向上 ・年度末認知症カフェ数 (R4)18か所 (R5)23か所 (R6)28か所 ・チームオレンジ数 (R5)1チーム (R6)2チーム (1) (2) ・選定等委員会開催数 (R4) 1回 (R5) 1回 (R6) 2回		決算額(千円)	17,716	17,716	17,758	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 (1) 今後、認知症初期集中支援チームに係る専門医の確保の調整が必要。 認知症の人の増加に備えて、認知症の人や支える家族等の不安に対する相談支援や介護スキルの向上につながる取組を強化していく必要がある。	
		今後の実施計画の方向性・内容		継続			

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	介護保険（地域支援）事業	所管部局	福祉部

15	所管室課	高齢福祉室	事業名	包括的支援・社会保障充実事業			
事業概要							
在宅医療・介護連携推進、生活支援体制整備、地域ケア会議開催							
活動実績		年度	R4	R5	R6	評価の視点	
高齢者の多様なニーズに応えるために生活支援サービスの体制整備や支援が包括的にいえるようなネットワークづくり、医療と介護を一体的に行う事業に取り組んだ。 (1) 在宅医療・介護連携推進 ・協議会開催数 (R4) 1回 (R5) 1回 (R6) 1回 ・ケアネット実務者懇話会 (R4) 1回 (R5) 1回 (R6) 1回 ・ケアネット実務者懇話会作業部会 (R4) 3回 (R5) 5回 (R6) 3回 ・ケアマネ塾 (R4) 2回 (R5) 2回 (R6) 2回 ・多職種連携研修会参加数 (R4) 51人 (R5) 82人 (R6) 96人 (2) 生活支援体制整備 ・協議会開催数 (R4) 3回 (R5) 3回 (R6) 3回 ・生活支援コーディネーター配置数 (R4) 1人 (R5) 3人 (R6) 3人 ・市民フォーラム等の開催 (R4) 1回 (R5) 1回 (R6) 1回 (3) 地域ケア会議開催数 ・ブロック別・地域別定例会 (R4) 26回 (R5) 20回 (R6) 18回 ・随時会 (R4) 2回 (R5) 0回 (R6) 1回		決算額(千円)	18,417	23,100	23,080	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 (1) 全国統一的な情報提供システム(医療情報ネット)の運用開始に伴い、すいた年輪サポートなびの改修を検討。 (3) 会議体を効率的に運営し、生活支援体制整備事業との運動を引き続き進める。	
		今後の実施計画の方向性・内容 拡充 すいた年輪サポートなびの改修					

16	所管室課	高齢福祉室	事業名	包括的支援事業			
事業概要							
包括的支援、委託型地域包括支援センター運営、地域包括支援センター運営協議会運営							
活動実績		年度	R4	R5	R6	評価の視点	
地域の高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とする地域包括支援センターを運営した。 (1) 包括的支援 ・相談件数(市内全体) (R4) 28,774件 (R5) 31,724件 (R6) 32,144件 (R6内訳) 権利擁護 3,604件 ケアマネジャー支援等 1,655件 介護保険サービス等 26,885件 ・(再掲) 相談件数(基幹型) (R4) 2,245件 (R5) 2,503件 (R6) 2,415件 (R6内訳) 権利擁護 951件 ケアマネジャー支援等 30件 介護保険サービス等 1,434件 (2) 委託型地域包括支援センター運営 15センターを委託 (3) 地域包括支援センター運営協議会運営 協議会を年2回開催		決算額(千円)	329,971	408,020	447,713	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 相談件数は年々増加傾向にある。また、複合的な課題を抱えた相談への対応や地域活動の多様化に伴い、地域包括支援センターに求められる機能が発揮できるよう、安定した体制の維持については引き続き注視していく必要がある。相談記録の作成や実績統計の蓄積に使用している地域包括支援システムについて、システム等標準化に伴う対応を実施していく。	
		今後の実施計画の方向性・内容 継続					

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード 312	施策 暮らしを支える支援体制の充実
-----------	-------------------

管理事業 介護保険（地域支援）事業	所管部局 福祉部
-------------------	----------

17	所管室課	高齢福祉室	事業名	介護サービス相談員派遣事業			
事業概要							
介護サービス相談員派遣							
活動実績		年度	R4	R5	R6	評価の視点	
(1)派遣施設 ・令和4年度 38施設 ・令和5年度 38施設 ・令和6年度 40施設 (2)活動回数 ・令和4年度 0回（新型コロナウイルス感染症により活動休止） ・令和5年度 368回（令和5年6月より活動再開） ・令和6年度 632回 (3)介護サービス相談員数 ・令和4年度 19人 ・令和5年度 18人 ・令和6年度 21人		決算額(千円)	34	1,301	2,133	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容	
		令和2年度から令和4年度まで新型コロナウイルス感染症予防のため、部外者の施設訪問が難しい状態が続き、活動を休止していたが、令和5年度は介護サービス相談員の受入れが可能となった事業所から順次再開している。感染症拡大の懸念から外部からの出入りに慎重な施設も多く、事業の理解を得ることや派遣施設の周知、介護サービス相談員の確保の課題を解決するため令和7年度から事務局の委託化を実施している。				継続	

18	所管室課	高齢福祉室	事業名	介護給付費適正化事業			
事業概要							
介護給付費通知（令和6年度未廃止）、介護給付費等分析							
活動実績		年度	R4	R5	R6	評価の視点	
(1)給付費通知 ・送付回数 各年度2回（令和6年度2回目については希望者のみ送付） ・送付件数 令和4年度 33,931件 令和5年度 34,984件 令和6年度 17,892件 (2)介護給付費等分析 ・算定内容を確認した事業所数 令和4年度 58事業所 令和5年度 47事業所 令和6年度 82事業所 ・対象件数 令和4年度 116件 令和5年度 85件 令和6年度 269件 ・請求誤りによる返還額 令和4年度 60,704円 令和5年度 41,956円 令和6年度 2,020円		決算額(千円)	5,395	5,579	3,546	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容	
		(1)給付費通知 事業費の増加傾向が課題であったが、給付適正化主要事業から任意事業に変更することを受け、令和6年度末で事業を廃止する。 (2)介護給付費等分析 居宅介護支援事業所に対して、必要な助言を行うためには専門的な知識や経験が必要。				継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	介護保険（地域支援）事業		所管部局 福祉部

19	所管室課	高齢福祉室	事業名	住宅改修支援事業			
事業概要							
住宅改修支援							
活動実績		年度	R4	R5	R6	評価の視点	
(1) 助成件数 ・令和4年度 29件 ・令和5年度 22件 ・令和6年度 12件		決算額 (千円)	58	44	24	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続	
		一般財源の 比率(%)	0.0	0.0	0.0		
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題					
		本来、介護報酬での対応が望ましいが、現行制度では本事業を継続する必要がある。					

	所管室課		事業名				
事業概要							
活動実績		年度	R4	R5	R6	評価の視点	
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容	
		一般財源の 比率(%)					
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題					

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	高齢者支援事業	所管部局	福祉部

1	所管室課	高齢福祉室	事業名	介護予防サービス計画等作成事業			
事業概要							
介護予防サービス計画等作成							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
平成31年4月に地域包括支援センターの直営は基幹型地域包括支援センター（高齢福祉室）のみとなり、サービス計画策定は終了した。 委託型地域包括支援センターの後方支援として、対応困難、緊急対応ケース等のケアプラン作成が生じた場合に備えて、高齢福祉室を指定介護予防支援事業者として登録しているが、実績はなし。		決算額(千円)	0	10	0	※課題があるものは■	
		一般財源の比率(%)	0.0	100.0	0.0	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		指定介護予防支援事業を実施するすべての委託型地域包括支援センター運営について、付属機関に基づく委員評価で「求められるレベルに達している」と評価を得ており、運営は安定している。 高齢福祉室が委託型地域包括支援センターのケアプラン作成を支援しなければならぬ状況に至ったことはない。		今後の実施計画の方向性・内容 継続	

2	所管室課	高齢福祉室	事業名	高齢者虐待対応短期入所生活介護事業			
事業概要							
高齢者虐待対応短期入所生活介護							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
高齢者に対する虐待を防止し、高齢者の自己決定の尊重と権利擁護を図る。 (R4)・措置者数 0人 ・延利用日数 0日間 (R5)・措置者数 2人 ・延利用日数 14日間 (R6)・措置者数 2人 ・延利用日数 53日間		決算額(千円)	0	74	279	※課題があるものは■	
		一般財源の比率(%)	0.0	100.0	100.0	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		特になし		今後の実施計画の方向性・内容 継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	高齢者支援事業	所管部局	福祉部

3	所管室課	高齢福祉室	事業名	在宅福祉サービス事業		
事業概要						
高齢者日常生活用具給付等、緊急通報システム(人感センサー含む)、高齢者寝具乾燥消毒サービス、高齢者訪問理美容サービス、高齢者見守り活動協力事業者との連携による見守り、高齢者家具転倒防止器具設置助成、家族介護用品支給						
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
【在宅福祉サービスの再構築による拡充及び縮小】 日常生活用具の給付等を行い、高齢者の福祉の増進を行った。 (1) 高齢者日常生活用具給付等 (R4)41件 (R5)50件 (R6)43件 (2) 緊急通報システム(人感センサー含む) ・給付件数(R4)136件 (R5)156件 (R6)140件 ・年度未設置数(R4)1,359台 (R5)1,270台 (R6)1,214台 人感センサー ・給付件数(R4)5件 (R5)7件 (R6)39件 ・年度未設置数(R4)9台 (R5)14台 (R6)50台 (3) 高齢者寝具乾燥消毒サービス(R6.6月末終了) ・延実施件数(R4)1,865件 (R5)1,594件 (R6)444件 (4) 高齢者訪問理美容サービス ・延利用件数(R4)36件 (R5)40件 (R6)83件 (5) 高齢者見守り活動協力事業者との連携による見守り ・年度未協力事業者数 (R4)622事業者 (R5)627事業者 (R6)620事業者 (6) 高齢者家具転倒防止器具設置助成 ・助成件数(R4)1件 (R5)2件 (R6)2件 (7) 家族介護用品支給 ・延べ利用件数 (R4)1,062件 (R5)1,248件 (R6)1,504件		決算額(千円)	34,970	28,914	18,089	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源の比率(%)	99.7	99.8	99.9	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			特になし	
						継続

4	所管室課	高齢福祉室	事業名	診断料助成事業		
事業概要						
診断料助成						
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
(1) 助成件数 ・令和4年度 402件 ・令和5年度 318件 ・令和6年度 248件		決算額(千円)	6,239	4,872	3,645	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			サービス利用者受入れが、コロナ禍以前の水準まで回復していないことから、助成件数は減少しているものの、今後の要介護認定者の増加や診療に係る費用の上昇から事業に係る費用の増加が見込まれ持続可能性に課題がある。	
						継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	高齢者支援事業	所管部局	福祉部

5	所管室課	高齢福祉室	事業名	千里ニュータウンプラザ管理事業 (地域包括支援センター・財産)			
事業概要							
千里ニュータウンプラザ施設管理							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
桃山台・竹見台地域包括支援センターが設置されている、千里ニュータウンプラザの公有財産購入に伴う支出。		決算額(千円)	7,484	7,383	7,277	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題					
		特になし				今後の実施計画の方向性・内容	
						継続	

6	所管室課	高齢福祉室	事業名	通いの場補助事業			
事業概要							
街かどデイハウス補助							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
介護予防又は生活支援を要する高齢者を対象に、健康チェック、給食、健康体操、筋力トレーニング等の介護予防やレクリエーション活動等のサービスを提供する場(街かどデイハウス)を運営する者に対して、補助金を交付した。 街かどデイハウス運営団体：6団体 ・延利用者数 (R4)11,641人 (R5)10,995人 (R6)9,498人		決算額(千円)	26,982	25,720	22,399	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題					
		市域内での街かどデイハウス開設場所に偏りがある。また、街かどデイハウスの運営スタッフが高齢になっており、次の担い手が不足している。 また、高齢者の集いの場として市民周知をさらに進めていく必要がある。				今後の実施計画の方向性・内容	
						継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	高齢者支援事業	所管部局	福祉部

7	所管室課	高齢福祉室	事業名	福祉クーポン券交付事業			
事業概要							
通院困難者タクシークーポン券交付、はり・きゅう・マッサージクーポン券交付							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
<p>【通院困難者タクシークーポン券の交付内容の見直しによる拡充】 高齢者に通院困難者タクシークーポン券を交付することで、通院の利便性向上を図った。また、高齢者の健康保持のため、はり・きゅう・マッサージクーポン券を交付した。</p> <p>(1) 通院困難者タクシークーポン券 ・交付者数 (R4)991人 (R5)1,042人 (R6)1,037人 ・交付枚数 (R4)23,784枚 (R5)25,008枚 (R6)21,622枚 ・使用枚数 (R4)9,727枚 (R5)9,314枚 (R6)10,891枚</p> <p>(2) はり・きゅう・マッサージクーポン券 ・交付者数 (R4)257人 (R5)242人 (R6)242人 ・交付枚数 (R4)1,413枚 (R5)1,318枚 (R6)1,326枚 ・使用枚数 (R4)730枚 (R5)786枚 (R6)718枚</p>		決算額 (千円)	9,103	8,506	11,275	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 ■ 持続可能性	
		一般財源 の 比率(%)	99.9	100.0	100.0	事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題	
		(1) 令和6年度からクーポンを1乗車に複数枚利用できるよう変更。変更後の利用状況の把握に努める。				今後の実施計画の方向性・内容	
		(2) 実績が減少傾向にあるため、今後の方向性の検討が必要。				継続	

8	所管室課	高齢福祉室	事業名	福祉の措置事業			
事業概要							
養護老人ホーム入所措置、やむを得ない入所等措置							
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
<p>高齢者に対し、心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な措置を講じた。</p> <p>(1) 養護老人ホーム入所措置 ・延べ措置者数 (R4)217人 (R5)245人 (R6)231人 ・年度末措置者数 (R4)19人 (R5)20人 (R6)19人 ・新規入所者数 (R4)3人 (R5)6人 (R6)1人 ・退所者数 (R4)2人 (R5)5人 (R6)2人</p> <p>(2) やむを得ない入所等措置 ・措置者数 (R4)0人 (R5)0人 (R6)1人</p>		決算額 (千円)	44,850	54,496	53,389	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源 の 比率(%)	81.2	80.3	77.3	事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題	
		特になし				今後の実施計画の方向性・内容	
						継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード 312	施策 暮らしを支える支援体制の充実
管理事業 高齢者支援事業	所管部局 福祉部

9	所管室課	高齢福祉室	事業名	認知症施策等総合支援事業			
事業概要							
認知症施策等総合支援							
活動実績		年度	R4	R5	R6	評価の視点	
支援者が、認知症の人とその家族のニーズに沿った支援が行えるよう、認知症ケアに関する知識・助言のスキルアップ研修を開催した。 (R6) 開催回数1回 参加者数26名		決算額(千円)	-	-	26	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	-	-	100.0		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		認知症の人や家族の支援に携わる事業所等のスキルアップにつながった。高齢者が増加することに伴い、認知症の人の増加も見込まれるため、本人や家族の不安や負担感を軽減するよう、引き続き、支援者のスキルアップの機会や、本人や家族の相談の場、家族の介護力を高める機会が必要である。また、どのような方法なら、本人や家族のニーズが満たされるかの把握も必要である。			

	所管室課		事業名				
事業概要							
活動実績		年度	R4	R5	R6	評価の視点	
		決算額(千円)				※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性	
		一般財源の比率(%)					
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題					

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名